

# 港工場～津波の爪痕 ③ 事務所棟ほか



▲対岸の石油精製施設の火災。



▲事務所・コントロールセンター、LNGプラザ、メンテナンスセンター、バスセンター、タンク計器室など、構内にある建物の1階部分はいずれも水没。執務室内には流された自動車が入り込み、LNGプラザの展示装置も損壊した。

※ P.6～17の写真は、仙台市ガス局港工場職員の内海敬一が撮影したものです。



▲まくり上げられたフロアパネルが散乱する第2変電室内西側にあるタンク計器室。



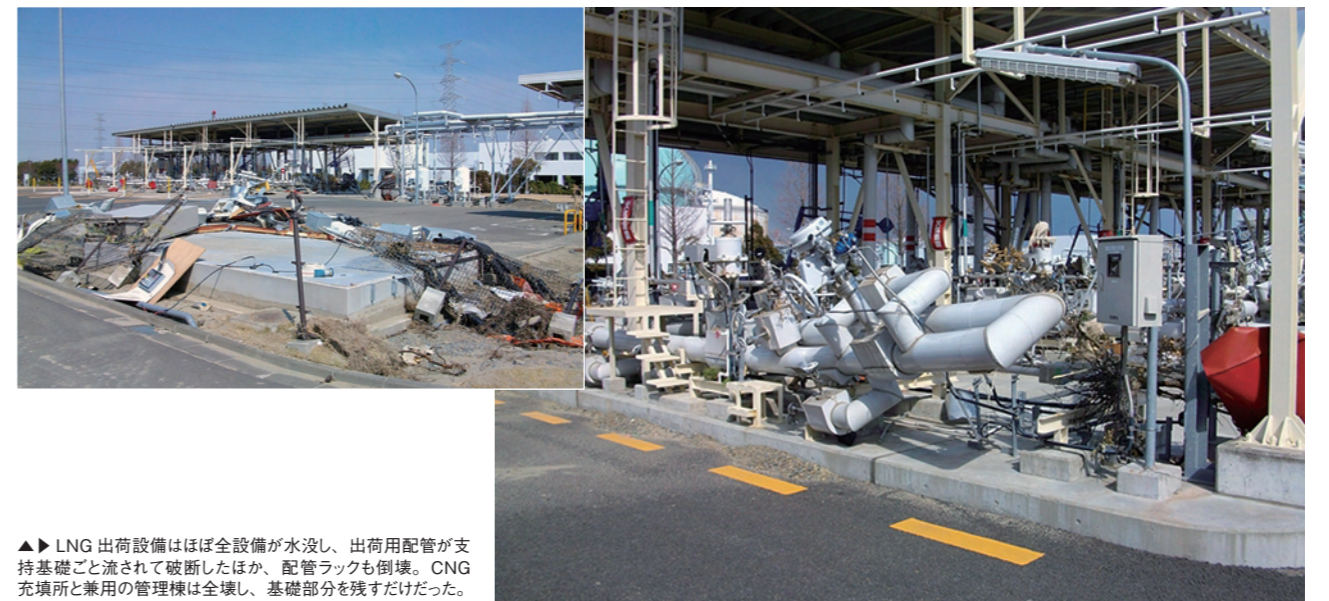
▲窓ガラス全面とブラインドが大破した事務所・コントロールセンター南側。建屋における窓の位置や大きさは今後の津波対策を検討する上での課題となった。



▲CNG充填所は事務所が流出。ディスペンサーも変形、大破した。



▲冠水した特高受電設備。第1変電室は床面の冠水のみで使用可能な状態であったが、第2変電室は扉が破損し、すべて冠水したため使用不能となり、電源喪失に陥った。



▲▶ LNG出荷設備はほぼ全設備が水没し、出荷用配管が支持基礎ごと流されて破断したほか、配管ラックも倒壊。CNG充填所と兼用の管理棟は全壊し、基礎部分を残すだけだった。